

Title	文久三年賀茂行幸の『總額』
Sub Title	
Author	武田, 勝藏(Takeda, Katsuzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1928
Jtitle	史学 Vol.7, No.1 (1928. 3) ,p.32- 32
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19280300-0032

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

文久三年賀茂行幸の『繪額』

(官幣大社賀茂別雷神神社藏)

本春、京都上賀茂の社に參拜し、寺井禰宜の案内で境内、社殿を拜觀したが、樓門の左側の廊下にかゝげられる文久三年孝明天皇の攘夷御祈願として當社行幸の繪額は幕末史に興味を持つ自分の欣喜と敬謝とを以て拜觀したものである。同繪額は當時其の行幸の盛儀を親しく拜した當社の神官賀茂眞直が、鳳輦並に其の前後の供奉を謹寫したもので、幾分雨露の跡は見受けられるが、幕末史の貴重な資料たるは記す迄も無い。

主上の宮外行幸は寛永三年後水尾天皇の二條城行幸を最後として二百餘年の久しい間行はれなかつた爲め、其の盛儀の再興せられるや、鳳輦を拜さむとて遠近より集まる者、數萬人に達したと云ふことである。猶、同額の下には、左の木札が附してある。

孝明天皇文久三年三月十一日當社行幸之圖 賀茂眞直筆

文久御造營度、御材木御用達伏見江崎權兵衛一門ヨリ奉納、今茲大正三年九月正遷宮度、其孫權一額縁金具修理、金網寄進スル所ナリ。

右の繪額は從來、あまり人に注目せられなかつたので、背てこゝに記述紹介した次第である。